

セルコートアグリ Q&A

◆植物・果実への効果について

Q1 果実、ミニトマトに使うとどうなりますか？

A1 サクランボは収穫10～15日前にセルコートアグリを5倍の水に溶かして散布しますと実割れ防止が可能です。

ミニトマトの場合は収穫5日前に10倍の水に溶かして散布しますと実割れ防止が可能です。

Q2 イチジクに使用することはできますか？

A2 イチジクの実が熟して実が割れ始めた時にセルコートアグリを25倍に薄めて散布していただきますと実の割れ目への害虫の侵入を予防します。

Q3 ブロッコリーに使うとどうなりますか？

A3 ブロッコリーが10cm位になったときから15～20日に1回、25倍に溶かしたセルコートアグリを10aあたり2000散布します。すると病原菌や害虫の付着を予防しながら軸まで美味しいブロッコリーを作ることができます。

Q4 葉菜類に使うとどうなりますか？

A4 セルコートアグリを25～30倍の水で溶かし、5～7cm位まで15日に1回散布していただき、大きくなったら50倍の水で溶かし15日に1回散布していただくとミネラルが吸収され、美味しい葉菜類ができます。

Q5 具体的にミニトマトの散布する手順を教えてください。

A5 1. 苗の時にセルコートアグリを25倍に溶かしてたっぷり散布してから定植していただきます。

2. 定植後成長し20cm位になったら10aあたり1200散布します。その後20cm位ごとに散布します。

3. その後成長が止まりましたら新芽が出たところだけを散布します。

Q6 イチゴにしようするとどうなりますか？

A6 観光イチゴのときはセルコートアグリを25倍の水に溶かして散布しますとより甘いイチゴになります。

それ以外のイチゴのときは10aあたり1200位の散布を15日に1回行ってください。

Q7 バラの栽培にはどう使えばいいですか？

A7 シーテンを300～1000倍の水で溶かして散布し、その後セルコートアグリを散布して害虫や病原菌の付着を予防します。

◆散布方法および散布量について

Q1 植木1本に対してどのくらい散布すればいいですか？

- A1 高さ3mの木の場合、25倍の水で希釈したセルコートアグリを
2.5l散布するのが一般です
高さ5mの木の場合、25倍の水で希釈したセルコートアグリを3.5l
高さ10mの木の場合、25倍の水で希釈したセルコートアグリを8kg散布します。
- Q2 高い木に散布するにはどうすればいいですか？
リフトを使用しないと散布できません。
散布器のノズルの先と木の間を1~1.5m位あけて散布するのが標準です。
- Q3 低木にはどのくらい散布すればいいですか？
- A3 25倍に薄めたセルコートアグリを1㎡あたり500ml散布して下さい。
葉から少しセルコートアグリが落ちる位が適量でポタポタ落ちるのはかけすぎです。
- Q4 散布方法はどのようにすればよいですか？
- A4 通常農薬を散布するノズルは120μmのものを使用するのが一般ですが
セルコートアグリの場合はノズルを50~60μmのものにして、葉の表・裏にムラ
なく散布して下さい。葉から少し落ちる位の量が最適です。
- Q5 セルコートアグリは一回散布すると、どの位もちますか？
- A5 理論的には年一回の散布で良いのですが、新しくできた葉が侵されてしまいますので
10日~20日に1回の散布が必要です。
- Q6 セルコートアグリを何回かけても植物の成長に影響はありませんか？
- A6 全く影響はありません。炭酸同化作用(光合成)にも影響はありません。

◆農薬との併用について

- Q1 農薬とセルコートアグリを混ぜることができますか？
- A1 農薬の希釈率が1000倍のものならば3000倍に、希釈率が1500倍のもの
ならば4500倍にしてセルコートアグリと混ぜて使用すると残留農薬がでません。
(通常の希釈量の3倍にすることで残留農薬を無くすることが可能です。)
- Q2 農薬を散布した後にセルコートアグリを散布しても大丈夫ですか？
- A2 農薬を散布した後にすぐにセルコートアグリを散布すると薬害が出て葉が枯れます。
14日位した後に散布するようにして下さい。
すぐに散布したい場合は、3%の食酢を散布すると農薬が落ちますので
農薬を落とした後に散布を行うようにして下さい。
- Q3 セルコートアグリを散布した後に農薬を散布しても大丈夫ですか？
- A3 薬害により葉が枯れることはありません。しかしながら収穫の20日前以降に農薬を
散布してしまうと残留農薬が出ますのでご注意ください。
- Q4 セルコートアグリは農薬の登録はしてあるのですか？
- A4 農薬ではないので登録しておりません。

◆展着剤との併用について

Q1 展着剤は必要ですか？

A1 植物の種類によっては弾かれてしまうので必要となります。

(植物はトライコーム(毛状突起)等)

当社の食品添加物のシーテンが展着剤となります。

シーテンを1000倍に薄めて使用していただきます。

Q2 シーテンはどれくらい必要ですか。

A2 セルコートアグリ20kgに対して、シーテン500mlの割合です。

◆植物成長剤との併用について

Q1 植物成長剤とセルコートアグリを混ぜてもいいですか？

A1 混ぜることは可能です。植物成長剤を少なくすることができます。

3倍くらい薄めて使用していただくと持続性も3倍以上良くなります。

◆セルコートアグリの成分について

Q1 セルコートアグリは何からできているのですか？

A1 ハイドロキシプロピルメチルセルロースと地下深層水からとったミネラル(Nunru AG)からできています。

日本薬局方でも人の口に入っても問題ないので許可されております。

また、食品添加物としても許可されています。

◆その他

Q1 セルコートアグリの保存期間はどのくらいですか？

A1 1年経ちますと少し浮遊物が発生する場合がございますが使用に問題ありません。

3年位は使用可能です。

Q2 セルコートアグリの安全性について

Q2 セルコートアグリは薬のカプセルの材料と同じであり、万が一人の口に入っても安全です。化学物質過敏症の人でも全く影響がありません。